

2023年度 一般社団法人 **示現会**

NO.1 (通算 NO38) 2023・1・1

事務局だより

事務所 ☎ 03-3824-9128

- 成田理事長新年のあいさつ
- 各係長(委員)のことは

裏面 ○<特集>各係長のことは・福岡支部の報告

皆様のお正月はいかかでしたでしょうか。コロナ禍ではありますが、行動制限が取れ久しぶりに故郷に向かわれた方も多かったのではないのでしょうか。

さて、今年はどうなるか。争い事のない落ち着いた年になってほしいと思うのですが。



希望溢れる年に

明けましておめでとうござい
ます。
いよいよ、二〇二三年が始ま
りました。昨年、示現会にと
つて大きな節目となる七五
周年迎えました。
まだ、コロナの脅威はおさま
らない中ですが、七六回展の
準備も始まりました。皆様の
素晴らしい作品で素晴らしい
い展覧会を開催いたしまし
よう



理事長
成田 禎介

昨年の第七五周年記念展は
五年ごとの大きな節目を無事
に終えることができました。示
現会全員の力を合わせた結果
と喜ばしく思います。
五年刻みにこだわることはな
いにしても一つの区切りとして
また次の八〇周年に向かっての
新たなスタートの年となりま
す。

七五周年を迎えた昨年の一
年間各支部の皆さんにも巡回
展、支部展、と活発な活動に対
して大きな感謝を申し上げます。
コロナの名が消えることなく
未だ続く中、世の中は通常の暮
らしに戻りつつあり、第七六回
示現会展にもにぎわいのある展
覧会を期待し、それに応えるべ
く様々な個性を發揮された見
応えのある作品群で会場が満
たされることを目指して皆で頑
張って行きましょう

新年のご挨拶

第76回示現会展に向けて準備が始まりました。
それぞれ係りがあり、理事が責任者として担当しますが、直接作業に携わるのは委員、及び近郊の会員になります。
「展覧会委員会」としてそれぞれの係の長(委員)に今年の抱負、そして76回展に向けてのお願いなどを掲載いたしました。

「搬入係」 倉本健夫



明けましておめで
とうございます。
コロナ禍のため
会員のメンバーを
縮小して理事の先生方の協力
によりまして作業進行の2年間
でした。76回展も同様のメン
バーで行うことは次世代(若手)
の引継ぎに成らないと思い、後
継者育成(搬入作業)のために
会員のメンバーの増員をお願い
しました。
委員、会員メンバーの皆様コ
ロナ対策をしっかりと行ない
搬入作業日にはよろしくお願
いします。

「名札係」 山口征男



明けましておめで
とうございます。
今年もよろしくお願
いします。
元日の朝 3年ぶりに氏子神社
の獅子舞がきてお祓いをうけ
ました。
不安ばかりの世の中 せめて
も神頼み、ミサイル増やしても
神頼みしても防御出来るのは
ごく一部、抑止力は誰が保証
してくれるのか一富士二鷹三
茄子を夢見て宝くじを買いま
しょう。
会場にて、名札に間違いがあ
れば、近くの係にお知らせく
ださい。

「巡回展係り」 山村早苗



新年おめでとうございます。
一昨年前、巡回展係りのリー
ダーをおおせつかりました。
前任の曾我部さんが書かれた
マニュアルを頼りに不安の中、
何とか仕事を終えることができ
ました。
係りの仕事としては、巡回展
に回る作品の題名や額等の詳
細を表にして初日に各支部長
にお渡しします。
委員は全員巡回展に回るこ
とになっていましたが、昨年よ
りアイウエオ順に分け、半分
の作品が1年おきに各支部に
回ることとなりました。
額も傷や欠けなどの詳細を隅
々までチェックし表に記入し、
作品と一緒に各支部の係りに
お渡しします。運送の途中な
どで事故が生じた場合は速や
かに事務局に報告すること
になっています。
76回展には新たに会員の方
2名が係りに入って頂けるこ
とになりました。
まだまだ新米ですが次回もど
うぞよろしくお願いいいた
します。



2月のリモート研究会 作品締め切り **2月13日(月) 必着**
2月19日(日)

研究会の参加要項はホームページの「作品研究会」をご覧ください

特集1

係主任(委員)の言葉



「賞係」 安藤義雄



皆様、新年はどうお過ごしされましたか。賞係として今年から本展で使用していた賞札(アクリル板)を巡回展に回さず支部用に作成した賞札を送りますので各支部長様にはご理解くださいますようお願いいたします。

昨年は自身体調を崩して(带状疱疹)周りの人達に大変ご迷惑をおかけしましたので、今年は健康管理に十分注意を払い制作同様、賞作業に専念したいと思います。なお台湾など商品発送で時間の使い方にかなり苦勞させられたので、その点今年は工夫して荷造り発送したいと思います。

最後に4月5日の表彰式が無事に終えることを賞係全員で協力し合い作業に努めたいと思います。76回展には新たに会員の方2名が係りに入って頂けることになりました。まだまだ新米ですが次回もどうぞよろしく願いいたします。

「懇親会係」 菱田直美



初日懇親会は会友以上で出欠はがきで申し込み済みの方に限ります。

入選者には別途ご案内の予定です。欠席への変更は一週間前です。以後はキャンセル料が発生しますので早めにお電話お願いいたします。(090-1619-4885)

美術館での会費受付は、混雑を避けて、展示室奥の部屋とベンチのある休憩所で1時から3時に行う予定です。4時半からは精養軒で行います。種々ご不便をおかけいたしますが、どうぞよろしくご協力いただけますようお願い申し上げます

早見表係 森田 徳美



早見表は、第74回展から大幅な変更になりました。それまでは、大勢での作業でしたがそれが出来なくなり、2人での作業となりました。第74回展、75回展と2回の経験を経て来ましたが課題はまだあり、完全なものにはなっていないと思いますので次回からはもっと工夫を凝らしてより良く見やすい早見表にして行きたいと思っています。

2023を希望溢れる年に

「目録係」 栗又功雄



あけましておめでとうございます。皆様健康に気を付けよい年にいたしましょう。

75回展は今までの経験をもとに新しい方法を模索し、作業いたしました。

このやり方はうまくいき、今度は目録と現場に違いが起らないだろうと思いましたが結果は何点か違いが出てしまいました。

陳列かかなり進み、終わりのころ、移動された作品があり、伝票の移動がなされなかった作品が何点かあったと言うことです。

これらの反省をもとに、次回からは全作品が陳列された後、再度を確認することにいたしました。係の人数増え 今度こそ完璧な目録にしていきたいと考えております。

「名簿係」 大岩 充子



このところ何年か名簿係をさせていただいています。

名簿係の主な仕事は、出品者の台帳、入選者の名簿、賞・昇格者名簿の作成と一般の入選者や昇格者への通知等です。

業者のパソコン作業のおかげで以前に比べだいぶ楽になりましたが、責任のある大事な仕事なので、注意深く取り組んでいきたいと思っています。

「搬出係」「リーフレット担当」 石田幸嗣



搬出係としては大切な作品が無事に出品者の方の手元に戻ることを願い、一点一点丁寧に搬出の仕事を進めてまいります。

今年は土田理事と搬出係を務めさせていただきます。いつもの通り、東美さんと協力し、「立つ鳥跡を濁さず」の譬えのように国立新美術館の係の方へ受け渡したいと思っております。

リーフレットは75回展の役員の作品を掲載した案内になります。多くの方に76回展の開催を知っていただける資料として利用ください。

広告・宣伝係 北島裕子 〈おつまみ「なとり」も広告主〉



示現会展の目録に広告を出して下さる会社が30社ある。

おつまみの「なとり」(株・名取三郎社長)もその一社である。大相撲で背に「なとり」と書かれた半纏を着て土俵周りで働く人達を見かける。テレビで相撲観戦をしながら目録広告の係として心から感謝している。

広報としては1月にポスターなどを発送する

ちょっと紹介 特集2

福岡支部からの支部展、公募展を開催の報告が届きました。コロナ禍がまだ解消されない中での開催という事で作品制作を含めいろいろと支部の方々は大変だったと思っております。公募展にも多くの作品が集まり素晴らしい展覧会となりました。



11月15~20日 第11回支部作品展・第8回支部公募展を福岡市美術館にて同時開催。

作品展出品号数は50号以内で初秋の風景や静物など32点の出品。これまでと違い公募展が隣接のフロアなので観覧者が公募展を観た後作品展を観られ、又、作品展出品者が公募展作品の新鮮なモチーフに感心されている姿も見られ、同日開催は良かったと思えました。

作品展責任者 野見山 弘次

示現会のいろいろな案内はホームページに掲載されます。ぜひご覧ください。



皆様からのニュースをお待ちしています。メール先佐藤祐治宛 sato_y_@d6.dion.ne.jp

公募展は会場の確保などで2017年から開催出来ませんでした。やっと開催する事が出来ました。コロナ禍でもあり出品される方が少ないのではと心配していましたが、出品者数42名・54作品あり年齢も14歳から85歳と幅広く充実した公募展となりました。

公募展会計責任者 大塚 美和子

